

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所 属	時間割コード	授業科目名			主担 当教 員	対象年次	学 期	曜日・ 校時	開講期間	
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017001	●ドイツ語 I(L(独1)_F1~F3)	和	E	評	山下 哲雄	1年,2年,3年,4年	前 期	月3	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017002	●ドイツ語I(P1・P2)	和	E	評	仲井 幹也	1年,2年,3年,4年	前 期	水1	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017003	●ドイツ語 I(L(独2)_E1~E6)	和	E	評	坂本 彩希 絵	1年,2年,3年,4年	前 期	水2	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017004	●ドイツ語 I(D1・D2_K1~K3)	和	E		清原 明代	1年,2年,3年,4年	前 期	木3	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017005	●ドイツ語I(M4~M6)	和	E		目正 勝	1年,2年,3年,4年	前 期	金3	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017006	●ドイツ語I(T1~T5)	和	E		古賀 正之	1年,2年,3年,4年	前 期	金3	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017007	●ドイツ語I(M1~M3)	和	E		目正 勝	1年,2年,3年,4年	前 期	金4	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017008	●ドイツ語I(T6~T10)	和	E		古賀 正之	1年,2年,3年,4年	前 期	金4	~
2014年 度シラバ ス(教養 教育科 目)	教養教育-教養 教育ド イツ語	20140590017009	●ドイツ語I(G1~G3)	和	E		葉柳 和則	1年,2年,3年,4年	後 期	火4	~

シラバス一覧

2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019001	●ドイツ語Ⅱ(L(独1)_F1～F3)	和	E		山下哲雄	1年,2年,3年,4年	後期	月3	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019002	●ドイツ語Ⅱ(P1・P2)	和	E		仲井幹也	1年,2年,3年,4年	後期	水1	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019003	●ドイツ語Ⅱ(L(独2)_E1～E6)	和	E		坂本彩希絵	1年,2年,3年,4年	後期	水2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019004	●ドイツ語Ⅱ(G1～G3)	和	E		葉柳和則	1年,2年,3年,4年	後期	水3	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019005	●ドイツ語Ⅱ(D1・D2_K1～K3)	和	E		清原明代	1年,2年,3年,4年	後期	木3	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019006	●ドイツ語Ⅱ(M4～M6)	和	E		目正勝	1年,2年,3年,4年	後期	金3	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019007	●ドイツ語Ⅱ(T1～T5)	和	E		古賀正之	1年,2年,3年,4年	後期	金3	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019008	●ドイツ語Ⅱ(M1～M3)	和	E		目正勝	1年,2年,3年,4年	後期	金4	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590019009	●ドイツ語Ⅱ(T6～T10)	和	E		古賀正之	1年,2年,3年,4年	後期	金4	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590021001	●ドイツ語Ⅲ(2T1～2T5)	和	E		山下哲雄	2年,3年,4年	前期	月1	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590021002	●ドイツ語Ⅲ(2M1～2M3)	和	E		山下哲雄	2年,3年,4年	前期	月2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590021003	●ドイツ語Ⅲ(2T6～2T10)	和	E	評	田口武史	2年,3年,4年	前期	火1	～

目)											
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590021004	●ドイツ語Ⅲ(2D1・2D2_2K1~2K4)	和	E	評	田口 武史	2年,3年,4年	前期	火2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590021005	●ドイツ語Ⅲ(2E1~2E8)	和	E		清原 明代	2年,3年,4年	前期	木2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590021006	●ドイツ語Ⅲ(2L1~2L3_2F1~2F3)	和	E		目正 勝	2年,3年,4年	前期	金2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590021007	●ドイツ語Ⅲ(2P1・2P2)	和	E	評	古賀 正之	2年,3年,4年	前期	金2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590023001	●ドイツ語Ⅳ(2T1~2T5)	和	E		山下 哲雄	2年,3年,4年,5年,6年	後期	月1	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590023002	●ドイツ語Ⅳ(2M1~2M3)	和	E		山下 哲雄	2年,3年,4年,5年,6年	後期	月2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590023003	●ドイツ語Ⅳ(2T6~2T10)	和	E		田口 武史	2年,3年,4年,5年,6年	後期	火1	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590023004	●ドイツ語Ⅳ(2D1・2D2_2K1~2K4)	和	E		田口 武史	2年,3年,4年,5年,6年	後期	火2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590023005	●ドイツ語Ⅳ(2E1~2E8)	和	E		清原 明代	2年,3年,4年,5年,6年	後期	木2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590023006	●ドイツ語Ⅳ(2L1~2L3_2F1~2F3)	和	E		目正 勝	2年,3年,4年,5年,6年	後期	金2	~
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育ドイツ語	20140590023007	●ドイツ語Ⅳ(2P1・2P2)	和	E		古賀 正之	2年,3年,4年,5年,6年	後期	金2	~

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017001	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(L(独1)_F1~F3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	L1~6 F1~3		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語で、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードを授業に盛り込む。		
授業到達目標	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発話すること。		
授業方法（学習指導法）	ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。		
	回	内容	
	1	ビデオでドイツの若者達を紹介。ドイツ語のアルファベットの練習。ドイツ語で自己紹介。	
	2	動詞の現在人称変化（1） sein,habenの現在人称変化、定形の位置。	
	3	名詞の性。性に応じた冠詞の格の用法。	
	4	複数形の定冠詞の格変化、男性弱変化名詞。	

授業内容	5	動詞の現在人称変化（2） 特に注意すべき動詞。
	6	人称代名詞の3格、4格の用法。
	7	定冠詞類、不定冠詞類、疑問詞の1格から4格までの用法。
	8	定形の位置。並列の接続詞。
	9	従属の接続詞。主文と副文。
	10	2格・3格・4格と結びつく前置詞。
	11	3格または4格と結びつく前置詞。特定の前置詞と結びつく動詞。
	12	話法の助動詞の人称変化と用法。
	13	副文中の話法の助動詞。
	14	動詞の3基本形。
	15	過去形で日記を書く。
	16	総復習。
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。	
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』（Deutsch macht Spaß!） 著者：本郷健治 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	小テストと定期試験で70%（小テスト50%、定期試験50%）そして共通テスト30%	
受講要件（履修条件）	独和辞典持参。古本でもかまいません。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017002	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (P1・P2)		
編集担当教員	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生 (クラス等)	P 1・2		
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館 5 2 4 研究室		
担当教員TEL	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	授業のねらい：ドイツ語の初級文法を現在時制（＋未来形）の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。		
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法 (学習指導法)	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業内容	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
	回	内容	
	1	辞書の説明、発音	
	2	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞	
	3	定冠詞、不定冠詞、格の用法	
	4	不規則動詞、命令形	
	5	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞	
	6	名詞の複数形	
	7	nichtとkein、目的語の語順	
8	前置詞		

	9	形容詞と形容詞の名詞化
	10	話法の助動詞、未来形
	11	序数と日付の表現
	12	分離動詞、非分離動詞
	13	従属接続詞と並列接続詞
	14	間接疑問文
	15	ランデスキュンデ
	16	まとめと定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	小島／仲井『やあ、みんな！』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)	
成績評価の方法・基準等	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。 (筆記試験総点×授業への参加状況 0.8～1.2＝成績) 従って授業をおろそかにする人は、試験の合計が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017003	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(L(独2)_E1~E6)		
編集担当教員	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 彩希絵		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生 (クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	ssakamoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標	ドイツ語検定5級合格		
授業方法 (学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	アルファベット 発音の規則	
	2	ドイツ語のあいさつ 一人称と二人称 動詞の人称変化(1)	
	3	三人称 動詞の人称変化(2)	
	4	100までの数字 名詞の性 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格	
	5	代名詞 複数形	
	6	不定冠詞・否定冠詞の4格 実用表現	
	7	所有冠詞 人称代名詞の1格・4格	
	不規則変化動詞		

	8	実用表現
	9	命令形 実用表現
	10	文法補足（2格） 聞き取り練習
	11	話法の助動詞 聞き取り練習
	12	3格と前置詞 会話練習
	13	4格と前置詞 作文練習
	14	文法補足（未来形） 作文練習
	15	まとめ 会話練習
	16	試験
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書	新倉真矢子（他著）『ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典については講義中に指示（自分の判断で買わないこと）	
成績評価の方法・基準等	小テストの得点（20%） 講義中の取り組み方（10%） ○定期試験（個別）（40%） 共通試験（30%） ※共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	毎回小テストを行いません。欠席者には課題を与えます。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017004	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(D1・D2_K1~K3)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	D1・2_K1~3		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解（あるいは自己理解）についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業方法（学習指導法）	教科書や資料に沿って説明を行った後、授業や宿題で練習問題に取り組みます。 既習事項の復習や問題の答え合わせでは任意に学生を指名して質問に答えてもらいますが、難しい・分からないところがあるのならヒントを出して誘導するので遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。 失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
	教科書に沿って進みますが下記はあくまでも予定です。 クラスの雰囲気、みなさんの理解度に応じて授業の進度は変わります。 最初の数回は指定の教科書に載っていないあいさつ表現、辞書の見方、共通試験用の語彙リストの見方等の説明にも時間を使います。		
	回	内容	
	1	授業の説明、ドイツ語のアルファベット、あいさつ	
	2	発音	
	3	発音続き、第1課（主語になる人称代名詞等）	
	4	第1課続き（動詞の現在人称変化等）	

授業内容	5	第1課続き (sein, haben, werden等)
	6	第2課 (名詞の性、定冠詞、名詞の格等)
	7	第2課続き (不定冠詞等)
	8	第3課 (複数形、男性弱変化名詞等)
	9	第4課 (動詞の現在人称変化2等)
	10	第4課続き (命令等)
	11	第5課 (冠詞類等)
	12	第5課続き (人称代名詞等)
	13	第6課 (前置詞等)
	14	第6課続き (従属接続詞、副文等)
	15	前期復習、確認
	16	定期試験
	キーワード	
教科書・教材・参考書	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。	
成績評価の方法・基準等	基本的に共通テスト3割・定期テスト7割で評価しますが、定期テストの7割分に関しては授業への取り組み方を見て多少加減する場合があります。	
受講要件 (履修条件)	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を持参してください。(第1回目の授業時はまだ用意してなくて大丈夫です。)	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐がらなくて大丈夫です。授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017005	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(M4～M6)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	M4～6		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	<p>（ドイツ語共通シラバスから） ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p>		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引ながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 （共通シラバス）</p> <p>1、発音</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母音：特にei、ey、eu、äu、ie の発音、長母音か短母音かの区別 ・子音：音節末のb・d・g、ch、語末のig、j、qu、s、ss、ß、語頭のsp・st、sch、tsch など ・基数と西暦の読み方 <p>2、初級文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人称代名詞と現在人称変化 ・sein、haben、werden ・平叙文、命令文、疑問文（決定疑問文、疑問詞のある疑問文） ・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性 ・格の用法 ・不規則変化動詞 ・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別 		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の複数形と男性弱変化名詞 ・前置詞 																																		
	3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶表現 ・感謝とお詫び ・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方 																																		
	4、文化および社会事情 <ul style="list-style-type: none"> ・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け 																																		
	テキストは15課から構成されているので、前期は大体7課ぐらいまで進む。したがって2回の授業で1課を終えることになる。																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文字と発音、アルファベットの名称を覚える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発音の続き、第1課、本文の和訳、動詞の現在人称変化、人称代名詞など。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第1課の続き、本文の和訳、定動詞の位置、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第2課、本文の和訳、不規則な現在人称変化など。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第2課の続き、本文の和訳、命令形、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第3課、本文の和訳、定冠詞、不定冠詞、格の用法など。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第3課の続き、本文の和訳、habenの現在人称変化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第4課、本文の和訳、dieser型とmein型、人称代名詞など。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第4課の続き、本文の和訳、疑問代名詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第5課、本文の和訳、名詞の複数形、基数など。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第5課の続き、本文の和訳、時刻の言い方、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第6課、本文の和訳、前置詞など。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第6課、本文の和訳、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第7課、本文の和訳、形容詞、比較など。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>第7課の続き、本文の和訳、序数、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>前期末試験。</td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。	2	発音の続き、第1課、本文の和訳、動詞の現在人称変化、人称代名詞など。	3	第1課の続き、本文の和訳、定動詞の位置、練習問題。	4	第2課、本文の和訳、不規則な現在人称変化など。	5	第2課の続き、本文の和訳、命令形、練習問題。	6	第3課、本文の和訳、定冠詞、不定冠詞、格の用法など。	7	第3課の続き、本文の和訳、habenの現在人称変化、練習問題。	8	第4課、本文の和訳、dieser型とmein型、人称代名詞など。	9	第4課の続き、本文の和訳、疑問代名詞、練習問題。	10	第5課、本文の和訳、名詞の複数形、基数など。	11	第5課の続き、本文の和訳、時刻の言い方、練習問題。	12	第6課、本文の和訳、前置詞など。	13	第6課、本文の和訳、練習問題。	14	第7課、本文の和訳、形容詞、比較など。	15	第7課の続き、本文の和訳、序数、練習問題。	16	前期末試験。
	回	内容																																	
	1	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。																																	
	2	発音の続き、第1課、本文の和訳、動詞の現在人称変化、人称代名詞など。																																	
	3	第1課の続き、本文の和訳、定動詞の位置、練習問題。																																	
	4	第2課、本文の和訳、不規則な現在人称変化など。																																	
	5	第2課の続き、本文の和訳、命令形、練習問題。																																	
	6	第3課、本文の和訳、定冠詞、不定冠詞、格の用法など。																																	
	7	第3課の続き、本文の和訳、habenの現在人称変化、練習問題。																																	
	8	第4課、本文の和訳、dieser型とmein型、人称代名詞など。																																	
	9	第4課の続き、本文の和訳、疑問代名詞、練習問題。																																	
	10	第5課、本文の和訳、名詞の複数形、基数など。																																	
	11	第5課の続き、本文の和訳、時刻の言い方、練習問題。																																	
12	第6課、本文の和訳、前置詞など。																																		
13	第6課、本文の和訳、練習問題。																																		
14	第7課、本文の和訳、形容詞、比較など。																																		
15	第7課の続き、本文の和訳、序数、練習問題。																																		
16	前期末試験。																																		
キーワード																																			
教科書・教材・参考書	「たのしいドイツ語 読む・聞く・話す（改訂版）」 片岡律子、小川さくえ、宮本絢子 著、白水社																																		
成績評価の方法・基準等	共通試験（30％）、定期試験（約70％）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。																																		
受講要件（履修条件）																																			
備考（URL）																																			
学生へのメッセージ	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。																																		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017006	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(T1～T5)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	T1～5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分に完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容	回	内容	
	1	アルファベット 発音、数詞・時間	
	2	動詞の現在人称変化（Ⅰ） 1. 動詞の現在人称変化	
	3	動詞の現在人称変化（Ⅰ） 2. 動詞の位置	
	4	動詞の現在人称変化（Ⅱ）・並列の接続詞 1. sein, haben, werden	
	5	動詞の現在人称変化（Ⅱ）・並列の接続詞 2. 並列の接続詞	
	6	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 1. 定冠詞	
	7	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 2. 不定冠詞 3. 否定冠詞	
	8	名詞の複数形・人称代名詞 1. 名詞の複数形	
	9	名詞の複数形・人称代名詞 2. 人称代名詞	
	10	不定冠詞類・定冠詞類 1. 不定冠詞類：所有冠詞	

	11	不定冠詞類・定冠詞類 2. 定冠詞類
	12	動詞の現在人称変化 (III)・命令形 1. 不規則動詞の現在人称変化
	13	動詞の現在人称変化 (III)・命令形 2. 命令形
	14	話法の助動詞・未来形 1. 話法の助動詞 2. 話法の助動詞の用法
	15	話法の助動詞・未来形 3. 話法の助動詞の現在人称変化 4. 話法の助動詞の位置 5. 未来形
	16	定期試験
キーワード	文法説明 表現練習 対話形式	
教科書・教材・参考書	教科書：上野・本田 「パノラマ 初級ドイツ語ゼミナル」 白水社 (辞書は当面不要)	
成績評価の方法・基準等	○共通テスト (30%)、定期試験 (30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。	
受講要件 (履修条件)	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017007	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(M1～M3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	M1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	<p>（ドイツ語共通シラバスから） ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する（接続法も含む）。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p>		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きなからでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説とドイツ語文の和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 （共通シラバス）</p> <p>1、発音</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母音：特にei、ey、eu、äu、ie の発音、長母音か短母音かの区別 ・子音：音節末のb・d・g、ch、語末のig、j、qu、s、ss、ß、語頭のsp・st、sch、tsch など ・基数と西暦の読み方 <p>2、初級文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人称代名詞と現在人称変化 ・sein、haben、werden ・平叙文、命令文、疑問文（決定疑問文、疑問詞のある疑問文） ・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性 ・格の用法 ・不規則変化動詞 ・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別 		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の複数形と男性弱変化名詞 ・前置詞 ・形容詞 	
	3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶表現 ・感謝とお詫び ・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方 ・時刻の尋ね方、答え方 	
	4、文化および社会事情 <ul style="list-style-type: none"> ・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け 	
	テキストは12課から構成されているので、前期は大体6課ぐらいまで進む。したがって2～3回の授業で1課を終える。	
	回	内容
	1	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。
	2	発音練習の続き、第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。
	3	第1課の続き、nichtの位置など、練習問題。
	4	第1課の続き、第2課、名詞と冠詞、格変化など、練習問題。
	5	第2課の続き、複数形、練習問題。
	6	第2課の続き、第3課、動詞の現在人称変化（2）など。
	7	第3課の続き、命令文、練習問題。
	8	第3課の続き、第4課、定冠詞類、不定冠詞類など。
	9	第4課の続き、疑問代名詞、練習問題。
	10	第4課の続き、第5課、人称代名詞の3格と4格、前置詞など。
	11	第5課の続き、前置詞、定冠詞との融合形、練習問題。
	12	第5課の続き、曜日、季節、一日の区分など、練習問題。
13	第6課、話法の助動詞など。	
14	第6課の続き、分離動詞、非分離動詞、分離・非分離動詞、練習問題。	
15	第6課の続き、時刻の言い方、練習問題。	
16	前期末試験。	
キーワード		
教科書・教材・参考書	「CD付き 使ってみよう！ ドイツ語 文法+4技能のトレーニング」 橋本政義、橋本淑恵、Heike Pinnau 著、三修社	
成績評価の方法・基準等	共通試験（30％）、定期試験（約70％）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価す。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017008	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(T6～T10)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	T 6～10		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容	回	内容	
	1	アルファベット 発音、数詞・時間	
	2	動詞の現在人称変化（Ⅰ） 1. 動詞の現在人称変化	
	3	動詞の現在人称変化（Ⅰ） 2. 動詞の位置	
	4	動詞の現在人称変化（Ⅱ）・並列の接続詞 1. sein, haben, werden	
	5	動詞の現在人称変化（Ⅱ）・並列の接続詞 2. 並列の接続詞	
	6	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 1. 定冠詞	
	7	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 2. 不定冠詞 3. 否定冠詞	
	8	名詞の複数形・人称代名詞 1. 名詞の複数形	
	9	名詞の複数形・人称代名詞 2. 人称代名詞	
	10	不定冠詞類・定冠詞類 1. 不定冠詞類：所有冠詞	

	11	不定冠詞類・定冠詞類 2. 定冠詞類
	12	動詞の現在人称変化 (III) ・命令形 1. 不規則動詞の現在人称変化
	13	動詞の現在人称変化 (III) ・命令形 2. 命令形
	14	話法の助動詞・未来形 1. 話法の助動詞 2. 話法の助動詞の用法
	15	話法の助動詞・未来形 3. 話法の助動詞の現在人称変化 4. 話法の助動詞の位置 5. 未来形
	16	定期試験
キーワード	文法説明 表現練習 対話形式	
教科書・教材・参考書	教科書：藤縄康弘「対話で学ぶドイツ語文法・入門編」朝日出版社（辞書は当面不要）	
成績評価の方法・基準等	○共通テスト（30％）、定期試験（30％）、平常点(40％)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。	
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590017009	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ (G1～G3)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生 (クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標	ドイツ語検定5級合格		
授業方法 (学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	ドイツ語・オランダ語・英語の関係 アルファベット 発音の規則	
	2	ドイツ語のあいさつ 動詞の人称変化 seinとhaben	
	3	動詞の位置	
	4	名詞の性	
	5	名詞の1格と4格 所有冠詞	
	6	不規則動詞の現在人称変化	
	7	名詞の複数形	
	8	名詞の3格	
	9	命令形 実用表現	
10	前置詞と名詞の格		

	11 人称代名詞の3格・4格
	12 分離動詞 非分離動詞
	13 話法の助動詞
	14 命令形 テスト対策
	15 まとめ テスト対策
	16 試験
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定
教科書・教材・参考書	清野智昭（他）『ドイツ語の時間くときめきミュンヘン』 DVD-ROM付コミュニケーション版 独和辞典については講義中に指示（自分の判断で買わないこと）
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況（15%） 講義中の取り組み方（15%） ○定期試験1（個別試験）（40%） 統一試験準拠試験（30%） ※統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。多文化社会学部の学生は「ドイツ語I」に関しては統一試験に準拠した問題で試験を行います。
受講要件（履修条件）	特になし
備考（URL）	http://h-semi.com/
学生へのメッセージ	各回に指示する自宅学習をきちんとこなすことが何より重要です。



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019001	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(L(独1)_F1~F3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生 (クラス等)	L1~6 F1~3		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	ヨーロッパで通用する言語は英語だけではありません。ドイツ語を話す人々が多いことも事実です。そこで利用価値のあるドイツ語を身につけましょう。		
授業到達目標	挨拶から始まり、趣味までドイツ語で話せるようになります。		
授業方法 (学習指導法)	毎回二人一組にして、新しい表現を会話形式で練習し、音として自然に身に付くようにします。		
授業内容	回	内容	
	1	グリム童話の映像を見ます。完了形。英語の現在完了形の知識を活用して、ドイツ語の完了形を理解します。	
	2	完了の助動詞habenとsein。	
	3	分離動詞の用法、過去形、過去分詞。	
	4	分離動詞のzu不定詞。副文中の分離動詞。	
	5	形容詞の用法、1格から4格までの変化。	
	6	原級、比較級、最高級の述語的用法。	
	7	再帰動詞の用法。	
	8	esの用法。	
	9	定関係代名詞の用法。ここまでの名詞の性、数、格の理解の度合いが問われます。	
	10	不定関係代名詞の用法。	
	11	動作受動の用法。	
	12	状態受動の用法。	

	13	直説法と接続法の違いと重要性。
	14	接続法の丁寧な表現と非現実の表現。
	15	現在分詞と過去分詞。
	16	zu不定詞の用法。総復習。
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。	
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』（Deutsch macht Spaß!） 著者：本郷健治 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	小テストと定期試験で70%（小テスト50%、定期試験50%）そして共通テスト30%	
受講要件（履修条件）	独和辞典持参。古本でもかまいません。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019002	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(P1・P2)		
編集担当教員	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	P1・2		
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館524研究室		
担当教員TEL	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況（0.8～1.2）に反映させます。		
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業内容	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
	回	内容	
	1	動詞の三基本形、過去	
	2	現在完了	
	3	過去完了、未来完了	
	4	再帰動詞	
	5	zu不定詞	
	6	esの用法	
	7	比較	
8	受動態		

	9	関係代名詞
	10	指示代名詞
	11	不定関係代名詞、関係副詞
	12	接続法（1）
	13	接続法（2）
	14	ランデスキュンデ
	15	総復習
	16	総復習と定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	小島／仲井『やあ、みんな！』同学社	
成績評価の方法・基準等	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。 （筆記試験総点×授業への参加状況 0.8～1.2＝成績）従って授業をおろそかにする人は、試験の合計点が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019003	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(L(独2)_E1~E6)		
編集担当教員	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 彩希絵		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 彩希絵		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生 (クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	ssakamoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標	ドイツ語検定4級合格		
授業方法 (学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	ドイツ語Iの復習 試験の解説 口慣らし、耳慣らし	
	2	分離動詞 作文練習	
	3	zu不定詞 作文練習	
	4	再帰代名詞 会話練習	
	5	過去形 会話練習	
	6	現在完了形 聞き取り練習	
	7	従属接続詞 聞き取り練習	
8	比較級と最上級 インタビュー練習		

	9 非人称 文法補足（動詞の格・前置詞支配） インタビュー練習
	10 文法補足（受動態） メールを書く
	11 文法補足（形容詞の付加語用法） メールを書く
	12 文法補足（関係代名詞） 総合演習
	13 文法補足（接続法一式） 総合演習
	14 文法補足（接続法二式） 総合演習
	15 まとめ
	16 試験
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定
教科書・教材・参考書	新倉真矢子（他著）『ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典については講義中に指示（自分の判断で買わないこと）
成績評価の方法・基準等	小テストの得点（20%） 講義中の取り組み方（10%） ○定期試験（個別）（40%） 共通試験（30%） ※共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。
受講要件（履修条件）	特になし
備考（URL）	
学生へのメッセージ	毎回小テストを行いません。欠席者には課題を与えます。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019004	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(G1～G3)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14：30-16：00		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標	ドイツ語検定4級合格		
授業方法（学習指導法）	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	ドイツ語Iの復習 3・4格支配の前置詞 並列接続詞	
	2	現在完了形	
	3	過去形	
	4	定冠詞類	
	5	副文	
	6	比較級・最上級	
	7	再帰代名詞と再帰動詞	
	8	形容詞の格変化	
	9	非人称表現	
	10	接続法第2式	
	11	zu不定詞	
12	文法補足（受動態） 総合演習		

	13	文法補足（関係代名詞） 総合演習
	14	文法補足（接続法一式） 試験対策
	15	まとめ 試験対策
	16	試験
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書	清野智昭（他）『ドイツ語の時間くときめきミュンヘン』 DVD-ROM付コミュニケーション版 朝日出版社 独和辞典については講義中に指示（自分の判断で買わないこと）	
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況（15%） 講義中の取り組み方（15%） ○定期試験（個別）（40%） 統一試験（30%） ※統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）	http://h-semi.com/	
学生へのメッセージ	各回に提示する課題にきちんと取り組むことが何より大切です。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019005	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(D1・D2_K1～K3)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-37		
対象学生（クラス等）	D1・2_K1～3		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解（あるいは自己理解）についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業方法（学習指導法）	教科書や資料に沿って説明を行った後、授業や宿題で練習問題に取り組みます。 既習事項の復習や問題の答え合わせでは任意に学生を指名して質問に答えてもらいますが、難しい・分からないところがあるのならヒントを出して誘導するので遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。 失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
	教科書に沿って進みますが下記はあくまでも予定です。 クラスの雰囲気、みなさんの理解度に応じて授業の進度は変わります。		
	回	内容	
	1	第7課（話法の助動詞等）	
	2	第7課続き（未来形等）	
	3	第8課（分離動詞・非分離動詞等）	
	4	第8課続き（再帰、非人称主語es等）	
	5	第9課（形容詞の語尾等）	
	6	第9課続き（形容詞の語尾、形容詞の名詞化等）	

授業内容	7	第9課続き（形容詞の比較変化等）
	8	第10課（動詞の3基本形等）
	9	第10課続き（動詞の過去人称変化等）
	10	第11課（完了形等）
	11	第11課続き（完了形等）
	12	第12課（受動態等）
	13	第12課続き（zu不定詞、分詞等）
	14	第13課（指示代名詞、関係代名詞等）
	15	第13課続き（関係代名詞等）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』（同学社）。	
成績評価の方法・基準等	基本的に共通テスト3割・定期テスト7割で評価しますが、定期テストの7割分に関しては授業への取り組み方を見て多少加減する場合があります。	
受講要件（履修条件）	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐がらなくて大丈夫です。授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019006	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ (M4～M6)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生 (クラス等)	M4～6		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きなからでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法 (学習指導法)	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
	下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス) 1、発音 ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 ・形容詞 (不加語的用法と述語的用法) と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了		

授業内容

- ・再帰代名詞と再帰動詞
- ・zu不定詞
- ・esの用法（自然現象、時刻の表現）
- ・不定代名詞man
- ・形容詞の原級、比較級、最上級
- ・受動態と状態受動
- ・関係代名詞
- ・指示代名詞

3、コミュニケーション

- ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方
- ・家族と趣味についての尋ね方と答え方
- ・日付と時刻についての尋ね方と答え方

前期に引き続いて、8課から15課まで進む。2回の授業で1課を終える。

回	内容
1	第8課、本文の和訳、話法の助動詞、未来形など。
2	第8課の続き、本文の和訳、未来形、練習問題。
3	第9課、本文の和訳、分離動詞、非分離動詞、接続詞など。
4	第9課、本文の和訳、接続詞、副文、練習問題。
5	第10課、本文の和訳、動詞の3基本形など。
6	第10課の続き、本文の和訳、過去人称変化、練習問題。
7	第11課、本文の和訳、現在完了など。
8	第11課の続き、本文の和訳、過去完了、練習問題。
9	第12課、本文の和訳、再帰動詞、zu不定詞など。
10	第12課の続き、本文の和訳、esの用法、練習問題。
11	第13課、本文の和訳、受動態など。
12	第13課の続き、本文の和訳、分詞、練習問題。
13	第14課の続き、本文の和訳、関係代名詞など。
14	第14課の続き、本文の和訳、指示代名詞、練習問題、第15課、接続法など。
15	第15課の続き、本文の和訳、接続法、練習問題。
16	後期末試験。

キーワード

教科書・教材・参考書

「たのしいドイツ語 読む・聞く・話す（改訂版）」
片岡律子、小川さくえ、宮本絢子 著、白水社

成績評価の方法・基準等

共通試験（30％）、定期試験（約70％）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。

受講要件（履修条件）

備考（URL）

学生へのメッセージ

やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019007	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T1～T5)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	T1～5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容	回	内容	
	1	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 1. 前置詞	
	2	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 2. 再帰代名詞・再帰動詞	
	3	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 1. 分離動詞 2. 非分離動詞	
	4	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 3. 分離動詞と非分離動詞	
	5	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 4. zu不定詞	
	6	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 5. 従属の接続詞	
	7	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 1. 動詞の3基本形（Ⅰ）	
	8	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 2. 過去形	
	9	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 3. 現在完了形	
10	動詞の3基本形（Ⅱ）・受動態 1. 動詞の3基本形（Ⅱ）		

	11	動詞の3基本形(Ⅱ)・受動態 2. 受動態
	12	形容詞の変化・比較・関係代名詞 1. 形容詞の変化
	13	形容詞の変化・比較・関係代名詞 2. 形容詞・副詞の比較変化
	14	形容詞の変化・比較・関係代名詞 3. 定関係代名詞
	15	形容詞の変化・比較・関係代名詞 4. 不定関係代名詞・関係副詞
	16	定期試験
キーワード	文法説明 表現練習 対話形式	
教科書・教材・参考書	教科書：上野・本田 「パノラマ 初級ドイツ語ゼミナル」 白水社	
成績評価の方法・基準等	○共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。	
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
備考(URL)		
学生へのメッセージ	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019008	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(M1～M3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	M1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	<p>（ドイツ語共通シラバスから） ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する（接続法も含む）。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p>		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きなからでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説とドイツ語文の和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 （共通シラバス）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、発音 <ul style="list-style-type: none"> ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞（不加語的用法と述語的用法）と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了 		

授業内容

- ・再帰代名詞と再帰動詞
- ・zu不定詞
- ・esの用法（自然現象、時刻の表現）
- ・不定代名詞man
- ・形容詞の原級、比較級、最上級
- ・受動態と状態受動
- ・関係代名詞
- ・指示代名詞
- ・接続法

3、コミュニケーション

- ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方
- ・家族と趣味についての尋ね方と答え方
- ・日付についての尋ね方と答え方

前期に引き続いて、7課から12課まで進む。2～3回の授業で1課を終える。

回	内容
1	第7課、zu不定詞の用法など。
2	第7課の続き、非人称のes、副文、練習問題。
3	第8課、形容詞、形容詞の名詞化など。
4	第8課の続き、形容詞の比較級と最上級、練習問題。
5	第8課、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。
6	第9課、動詞の三基本形、過去形、現在完了など。
7	第9課の続き、完了の助動詞、練習問題。
8	第10課、関係代名詞、不定関係代名詞など。
9	第10課の続き、関係副詞、練習問題。
10	第10課の続き、第11課、受動態など。
11	第11課の続き、自動詞の受動、練習問題。
12	第11課の続き、動作受動、状態受動、練習問題。
13	第12課、接続法、非現実話法など。
14	第12課の続き、間接話法、練習問題。
15	第12課の続き、要求話法、練習問題。
16	後期末試験。

キーワード

教科書・教材・参考書

「CD付き 使ってみよう！ ドイツ語 文法+4技能のトレーニング」
橋本政義、橋本淑恵、Heike Pinnau 著、三修社

成績評価の方法・基準等

共通試験（30%）、定期試験（約70%）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価す。

受講要件（履修条件）

備考（URL）

学生へのメッセージ

やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590019009	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T6～T10)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	T 6～10		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容	回	内容	
	1	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 1. 前置詞	
	2	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 2. 再帰代名詞・再帰動詞	
	3	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 1. 分離動詞 2. 非分離動詞	
	4	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 3. 分離動詞と非分離動詞	
	5	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 4. zu不定詞	
	6	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 5. 従属の接続詞	
	7	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 1. 動詞の3基本形（Ⅰ）	
	8	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 2. 過去形	
	9	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 3. 現在完了形	
10	動詞の3基本形（Ⅱ）・受動態 1. 動詞の3基本形（Ⅱ）		

	11	動詞の3基本形(Ⅱ)・受動態 2. 受動態
	12	形容詞の変化・比較・関係代名詞 1. 形容詞の変化
	13	形容詞の変化・比較・関係代名詞 2. 形容詞・副詞の比較変化
	14	形容詞の変化・比較・関係代名詞 3. 定関係代名詞
	15	形容詞の変化・比較・関係代名詞 4. 不定関係代名詞・関係副詞
	16	定期試験
キーワード	文法説明 表現練習 対話形式	
教科書・教材・参考書	教科書：藤縄康弘「対話で学ぶドイツ語文法・入門編」朝日出版社	
成績評価の方法・基準等	○共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。	
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
備考(URL)		
学生へのメッセージ	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590021001	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2T1～2T5)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	2D1.2 2T1～3		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法（学習指導法）	二人一組にして、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容	回	内容	
	1	ドイツの映像を見ます。ドイツ語文法の簡単な復習。自己紹介とその質疑応答。	
	2	旅行と交通。列車時刻表の見方。	
	3	列車の発車・到着時刻を尋ねる。	
	4	駅で切符を買う。	
	5	レストランで食事を注文する。	
	6	日本と違うレストランでの支払。	
	7	ホテルを探す、予約する。	
	8	街中で道を尋ねる。	
	9	ユーロに両替をする。日本への切手を買う。	
	10	ヨーロッパの天気について話す。	
	11	週末に何をしたかを尋ねる。	
	12	病状の表現。	
	13	薬局で薬を買う。	
14	会社に病気で出勤できないと伝える。		

	15	いつ誰に何をプレゼントするかを話す。
	16	プレゼントを買う。総復習。
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、 (株) 三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト (50%)、定期試験 (50%)	
受講要件 (履修条件)	独和辞典持参。古本でもかまいません。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590021002	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2M1～2M3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	2M		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法（学習指導法）	二人一組にして、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容	回	内容	
	1	ドイツの映像を見ます。ドイツ語文法の簡単な復習。自己紹介とその質疑応答。	
	2	旅行と交通。列車時刻表の見方。	
	3	列車の発車・到着時刻を尋ねる。	
	4	駅で切符を買う。	
	5	レストランで食事を注文する。	
	6	日本と違うレストランでの支払。	
	7	ホテルを探す、予約する。	
	8	街中で道を尋ねる。	
	9	ユーロに両替をする。日本への切手を買う。	
	10	ヨーロッパの天気について話す。	
	11	週末に何をしたかを尋ねる。	
	12	病状の表現。	
	13	薬局で薬を買う。	
14	会社に病気で出勤できないと伝える。		

	15	いつ誰に何をプレゼントするかを話す。
	16	プレゼントを買う。総復習。
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、 (株) 三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト (50%)、定期試験 (50%)	
受講要件 (履修条件)	独和辞典持参。古本でもかまいません。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590021003	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2T6～2T10)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、〈ドイツ語らしさ〉を体得することに重きを置く。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法（学習指導法）	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分以内に行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
	回	内容	
	1	発音(S.ii-v) Lektion1:Selbstvorstellung (S.1-2)	
	2	Lektion1:Selbstvorstellung (S.3-6)	
	3	Lektion2:Meine Familie (S.7-9)	
	4	Lektion2:Meine Familie (S.10-12)	
	5	Lektion3:Meine Hobbys (S.13-15)	

授業内容	6	Lektion3:Meine Hobbys (S.16-18)
	7	Lektion4:Zum Chimsee (S.19-21)
	8	Lektion4:Zum Chimsee (S.22-24)
	9	Lektion5:Gesundheit (S.25-27)
	10	Lektion5:Gesundheit (S.28-30)
	11	Lektion6:Einkaufen (S.31-33)
	12	Lektion6:Einkaufen (S.34-36)
	13	Lektion7:Muenchen (S.37-39)
	14	Lektion7:Muenchen (S.40-42)
	15	前期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ	
教科書・教材・参考書	ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業への積極的参加、小テストなど）50%、定期試験（筆記試験、ディクテーションあり）50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590021004	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2D1・2D2_2K1~2K4)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、〈ドイツ語らしさ〉を体得することに重きを置く。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法 (学習指導法)	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分以内に行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
	回	内容	
	1	発音(S.ii-v) Lektion1:Selbstvorstellung (S.1-2)	
	2	Lektion1:Selbstvorstellung (S.3-6)	
	3	Lektion2:Meine Familie (S.7-9)	
	4	Lektion2:Meine Familie (S.10-12)	
	5	Lektion3:Meine Hobbys (S.13-15)	

授業内容	6	Lektion3:Meine Hobbys (S.16-18)
	7	Lektion4:Zum Chimsee (S.19-21)
	8	Lektion4:Zum Chimsee (S.22-24)
	9	Lektion5:Gesundheit (S.25-27)
	10	Lektion5:Gesundheit (S.28-30)
	11	Lektion6:Einkaufen (S.31-33)
	12	Lektion6:Einkaufen (S.34-36)
	13	Lektion7:Muenchen (S.37-39)
	14	Lektion7:Muenchen (S.40-42)
	15	前期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ	
教科書・教材・参考書	ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業への積極的参加、小テストなど）50%、定期試験（筆記試験、ディクテーションあり）50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590021005	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2E1～2E8)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、 またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて 各言語の特徴や発想方法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標	まだ理解していない文法事項を確認し問題を解消すること、 語彙を増やし定着させること、 ドイツ語的な表現・発想の理解。		
授業方法（学習指導法）	教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。 解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。 【※ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習、補足を適宜行います。一年次の教科書も持ってきてください。】		
	宿題に出した問題の解答を、毎回任意の学生に指名して板書してもらいます。 分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思 表示をしてください。 知らないことや間違いがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。 失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。 また学期中数回小テストを実施する予定です。		
	基本的には教科書に沿って進みますが、下記はあくまでも予定です。 授業の進度や扱う課の順番は状況に応じて変わります。		
	回	内容	
	1	授業の説明、名詞の性と数	
	2	動詞の現在形(1)	
	3	定冠詞と名詞の格変化（定冠詞類）	
	4	定動詞の位置(1)	

授業内容	5	動詞の現在形(2)
	6	動詞の現在形(3)
	7	定動詞の位置(2)
	8	不定冠詞と不定冠詞類 (名詞の複数形)
	9	疑問代名詞
	10	人称代名詞
	11	前置詞(1)
	12	前置詞(2)
	13	前置詞(3)
	14	分離動詞
	15	過去形
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	大岩信太郎『Deutsche Satzübungen für Anfänger (はじめての独作文)』(朝日出版社)。	
成績評価の方法・基準等	基本的に定期テストの点数で評価します。 しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合がありますので注意してください。	
受講要件 (履修条件)	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。 【※ドイツ語I・IIの復習、補足を適宜行います。一年次の教科書も持ってきてください。】	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐がらなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。 。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590021006	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2L1～2L3_2F1～2F3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生 (クラス等)	2L1～3、2F1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしなが、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。 		
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業方法 (学習指導法)	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の1～5回目までの授業では、発音と基礎文法の確認を、プリントを使って行う。 ・教科書は第6回目から使用する。 ・教科書は中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認、文の読解、およびドイツ語表現の練習を内容としている。 ・ドイツ語文章は、日本人学生がドイツで生活する様子を伝えるもので、時にはドイツの歴史や文化に話題が及ぶこともある。文章そのものは平易。 ・教室では毎回3～4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 ・できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。 ・朗読練習 ・折に触れてレポートを課す。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各課は、ドイツ語本文、内容に関する問い、および文法練習問題と短い読章から構成されている。大体3回の授業で1課を終える。したがって、前期は4課の半分ぐらいまで進む。 ・本文と読章は、前もって3～4名のの人に調べてきてもらって、教室で訳を発表してもらう。 		
	回	内容	
	1	プリント使用。主として発音の基礎の確認。ドイツ語文章の和訳。	
	2	プリント使用。動詞の現在、過去、現在完了など、基礎文法の確認。ドイツ語文章の和訳。	

授業内容	3	プリント使用。名詞、代名詞、冠詞などの格変化の確認。ドイツ語文章の和訳。
	4	プリント使用。接続詞、関係代名詞、語順など確認。ドイツ語文章の和訳。
	5	プリント使用。接続法など。ドイツ語文章の和訳。
	6	教科書第1課、本文を読む、内容に関する問い、名詞の合成、不定代名詞など、文法練習問題。
	7	第1課の続き、本文の和訳、関係代名詞、表現練習問題。
	8	第1課の続き、練習問題、読章「ドイツの学生生活」。
	9	第2課、本文を読む、内容に関する問い、接続法第二式など、文法練習問題。
	10	第2課の続き、本文の和訳、接続法、表現練習問題。
	11	第2課の続き、練習問題、読章「復活祭」。
	12	第3課、本文を読む、内容に関する問い、分詞と受動、文法練習問題。
	13	第3課の続き、本文の和訳、受動、表現練習問題。
	14	第3課の続き、練習問題、読章「レーゲンスブルク」。
	15	第4課、本文を読む、内容に関する問い、複合動詞、文法練習問題。
	16	前期末試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	「体験するドイツ語」 須澤 通、Elisabeth Schmidt、浜 泰子 著、郁文堂
成績評価の方法・基準等	定期試験（約90%）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10%）を考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590021007	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2P1・2P2)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	2P1・2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ	現代のドイツは拡大するEU（ヨーロッパ連合）の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱまでに学んだ初級文法の知識を、日常生活の各場面に応じたパートナー練習、ドリル練習を通じて定着させ、使えるようになること、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。また、未習の、より発展的な文法事項についても適宜取り扱います。		
授業方法（学習指導法）	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業内容	回	内容	
	1	あいさつ：いろいろな場面に応じたあいさつ表現を覚え、ドイツ語の発音をもう一度確認する。	
	2	自己紹介：自分の名前、出身、住所を伝え、相手の名前、出身、住所を尋ねる。	
	3	自己紹介：自分の国籍、年齢、職業を伝え、相手の国籍、年齢、職業を尋ねる。	
	4	第三者の紹介：自分と相手以外の人物について相手に伝え、相手に尋ねる。	
	5	余暇：自分の趣味を相手に伝え、相手の趣味を尋ねる。	
	6	余暇：自分の余暇活動を相手に伝え、相手を勧誘する。	
	7	余暇：第三者の趣味や余暇活動について相手に伝え、相手に尋ねる。	
	8	一日のできごと：自分の一日の生活について相手に伝え、相手の一日の生活について尋ねる。その1	

	9	一日のできごと：自分の一日の生活について相手に伝え、相手の一日の生活について尋ねる。その2
	10	一日のできごと：第三者の一日の生活について相手に伝え、相手に尋ねる。
	11	持ち物：自分の持ち物を相手に伝え、相手の持ち物について尋ねる。
	12	持ち物：自分や相手の持ち物について、おたがいに意見を言う。
	13	持ち物：室内の品物について、おたがいに何が必要かを話す。
	14	ショッピングセンターで：店舗構成と開店時間・閉店時間について話す。
	15	ショッピングセンターで：どの店舗で何ができ、何ができないか、また、何がしたいのかを話す。
	16	定期試験
キーワード	楽しくパートナー練習 参加型教材	
教科書・教材・参考書	教科書：三宅・コッホ 「アクティブに使うドイツ語・ノイ」 三修社	
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績（50％）、2. 毎時間の口頭発表および課題の提出（50％）で評価します。	
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	今回の授業で用いる会話表現の意味を自発的に調べ、覚えておくと良いでしょう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590023001	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2T1～2T5)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	2D1.2 2T1～3		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法（学習指導法）	二人一組にして、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容	回	内容	
	1	ドイツの映像を見る。前期の復習。	
	2	服装の好みを話す。	
	3	服を買う。	
	4	ゴミの分別。	
	5	エネルギーの節約。	
	6	学校の環境プロジェクト。	
	7	公共の場所で禁止・許可されていること。	
	8	何歳で何ができるか。18歳で飲酒。	
	9	教育制度について話す。	
	10	卒業資格と職業。	
	11	職業相談所で。	
	12	ドイツの祝日はほとんどがキリスト教に関係している。	
	13	イースターについて。	
14	クリスマスとアトベント。		

	15	ドイツと日本の年未年始。
	16	総復習。
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、 (株) 三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト (50%)、定期試験 (50%)	
受講要件 (履修条件)	独和辞典持参。古本でもかまいません。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590023002	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2M1～2M3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	2M		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法（学習指導法）	二人一組にして、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容	回	内容	
	1	ドイツの映像を見る。前期の復習。	
	2	服装の好みを話す。	
	3	服を買う。	
	4	ゴミの分別。	
	5	エネルギーの節約。	
	6	学校の環境プロジェクト。	
	7	公共の場所で禁止・許可されていること。	
	8	何歳で何ができるか。18歳で飲酒。	
	9	教育制度について話す。	
	10	卒業資格と職業。	
	11	職業相談所で。	
	12	ドイツの祝日はほとんどがキリスト教に関係している。	
	13	イースターについて。	
14	クリスマスとアトベント。		

	15	ドイツと日本の年未年始。
	16	総復習。
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、 (株) 三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト (50%)、定期試験 (50%)	
受講要件 (履修条件)	独和辞典持参。古本でもかまいません。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590023003	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2T6～2T10)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、〈ドイツ語らしさ〉を体得することに重きを置く。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法（学習指導法）	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆけど、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくること。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分以内に行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
	回	内容	
	1	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.43-44)	
	2	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.45-46)	
	3	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.47-48)	
	4	Lektion9:Essen und Trinken (S.49-50)	
	5	Lektion9:Essen und Trinken (S.51-52)	
	6	Lektion9:Essen und Trinken (S.53-54)	

授業内容	7	Lektion10:Weihnachten (S.55-56)
	8	Lektion10:Weihnachten (S.57-58)
	9	Lektion10:Weihnachten (S.59-60)
	10	Lektion11:Mode (S.61-62)
	11	Lektion11:Mode (S.63-64)
	12	Lektion11:Mode (S.65-66)
	13	Lektion12:Mein Wunsch (S.67-68)
	14	Lektion12:Mein Wunsch (S.69-70)
	15	Lektion12:Mein Wunsch (S.71-72) 後期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ	
教科書・教材・参考書	ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業への積極的参加、小テストなど）50%、定期試験（筆記試験、ディクテーションあり）50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590023004	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2D1・2D2_2K1~2K4)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	ドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、〈ドイツ語らしさ〉を体得することに重きを置く。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法 (学習指導法)	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分以内に行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
	回	内容	
	1	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.43-44)	
	2	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.45-46)	
	3	Lektion8:Nach dem Urlaub (S.47-48)	
	4	Lektion9:Essen und Trinken (S.49-50)	
	5	Lektion9:Essen und Trinken (S.51-52)	
	6	Lektion9:Essen und Trinken (S.53-54)	

授業内容	7	Lektion10:Weihnachten (S.55-56)
	8	Lektion10:Weihnachten (S.57-58)
	9	Lektion10:Weihnachten (S.59-60)
	10	Lektion11:Mode (S.61-62)
	11	Lektion11:Mode (S.63-64)
	12	Lektion11:Mode (S.65-66)
	13	Lektion12:Mein Wunsch (S.67-68)
	14	Lektion12:Mein Wunsch (S.69-70)
	15	Lektion12:Mein Wunsch (S.71-72) 後期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ	
教科書・教材・参考書	ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業への積極的参加、小テストなど）50%、定期試験（筆記試験、ディクテーションあり）50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590023005	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2E1～2E8)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-37		
対象学生（クラス等）	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、 またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて 各言語の特徴や発想方法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標	まだ理解していない文法事項を確認し問題を解消すること、 語彙を増やし定着させること、 ドイツ語的な表現・発想の理解。		
授業方法（学習指導法）	教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。 解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。 【※ドイツ語I・IIの復習、補足を適宜行います。一年次の教科書も持ってきてください。】		
	宿題に出した問題の解答を、毎回任意の学生に指名して板書してもらいます。 分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示をしてください。 知らないことや間違いがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。 失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。 また学期中数回小テストを実施する予定です。		
	基本的には教科書に沿って進みますが、下記はあくまでも予定です。 授業の進度や扱う課の順番は状況に応じて変わります。		
	回	内容	
	1	現在完了形・過去完了（未来形・未来完了）	
	2	形容詞の格変化	
	3	受動	
	4	zu不定詞[句]	

授業内容	5	比較
	6	非人称
	7	話法の助動詞(1)
	8	話法の助動詞(2)
	9	関係代名詞
	10	指示代名詞
	11	再帰代名詞
	12	命令法・分詞
	13	要求話法
	14	非現実話法
	15	間接話法
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	大岩信太郎『Deutsche Satzübungen für Anfänger (はじめての独作文)』（朝日出版社）。	
成績評価の方法・基準等	基本的に定期テストの点数で評価します。 しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合がありますので注意してください。	
受講要件（履修条件）	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。 【※ドイツ語I・IIの復習、補足を適宜行います。一年次の教科書も持ってきてください。】	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐がらなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。 。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590023006	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2L1～2L3_2F1～2F3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生 (クラス等)	2L1～3、2F1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしなが、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。 		
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業方法 (学習指導法)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の教科書を引き続いて使用。 ・教科書は中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認、文の読解、およびドイツ語表現の練習を内容としている。 ・ドイツ語文章は、日本人学生がドイツで生活する様子を伝えるもので、時にはドイツの歴史や文化に話題が及ぶこともある。文章そのものは平易。 ・教室では毎回3～4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 ・できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。 ・朗読練習 ・折に触れてレポートを課す。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・後期は4課の途中から始めて9課ぐらいまで読む。3回の授業で1課を終える。 ・本文と読章は、前もって当てておいた3～4人の人に訳してもらう。 		
	回	内容	
	1	第4課の続き、本文の和訳、表現練習問題。	
	2	第4課の続き、表現練習問題、読章「ランデスクンデ」。	
	3	第4課の続き、読章、第5課、本文を読む。	
	4	第5課の続き、本文を読む、内容に対する問い、形容詞の格変化、文法練習問題。	

授業内容	5	第5課の続き、本文の和訳、表現練習問題、読章「ドイツの天気」。	
	6	第6課、本文を読む、内容に関する問い、間接疑問、文法練習問題。	
	7	第6課の続き、本文の和訳、表現練習問題。	
	8	第6課の続き、表現練習問題、読章「duzen oder siezen」。	
	9	第7課、本文を読む、内容に関する問い、機能動詞、文法練習問題。	
	10	第7課の続き、本文の和訳、表現練習問題。	
	11	第7課の続き、表現練習問題、読章「ゲーテとワイマール」。	
	12	第8課、本文を読む、内容に関する問い、zu不定詞、文法練習問題。	
	13	第8課の続き、本文の和訳、表現練習問題。	
	14	第8課の続き、表現練習問題、読章「保健衛生制度」。	
	15	第9課、本文を読む、内容に関する問い、間接話法、文法練習問題。	
	16	後期末試験	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	「体験するドイツ語」 須澤 通、Elisabeth Schmidt、浜 泰子 著、郁文堂	
	成績評価の方法・基準等	定期試験（約90％）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10％）を考慮して評価する。	
	受講要件（履修条件）		
備考（URL）			
学生へのメッセージ	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590023007	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2P1・2P2)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	2P1・2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ	現代のドイツは拡大するEU（ヨーロッパ連合）の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業到達目標	ドイツ語IIIまでに学んだ初級文法の知識を、日常生活の各場面に応じたパートナー練習、ドリル練習を通じて定着させ、使えるようになること、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。また、未習の、より発展的な文法事項についても適宜取り扱います。		
授業方法（学習指導法）	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業内容	回	内容	
	1	ショッピングセンターで：目当ての店舗を探し、商品を購入する。	
	2	家族：おたがいの家族構成、家族の職業、年齢、性格などについて話す。その1	
	3	家族：おたがいの家族構成、家族の職業、年齢、性格などについて話す。その2	
	4	家族：おたがいの家族の誕生日と誕生日のプレゼントについて話す。	
	5	街で：街中での自分の居場所と行き先を伝え、相手の居場所と行き先を尋ねる。	
	6	街で：行き先での予定、行き先が街中のどこにあるかを話す。	
	7	街で：レストランでの注文と食後の支払いについて話す。	
	8	身体と健康：病院で医師の診察を受け、薬局で薬を処方される。その1	
	9	身体と健康：病院で医師の診察を受け、薬局で薬を処方される。その2	
10	身体と健康：家族や知人の外見、様子、健康などについて話す。その1		

	11	身体と健康：家族や知人の外見、様子、健康などについて話す。その2
	12	週末：おたがいに週末どこにいて、何をしたかを話す。その1
	13	週末：おたがいに週末どこにいて、何をしたかを話す。その2
	14	週末：おたがいに週末どこにいて、何をしたかを話す。その3
	15	休暇：行き先と現地での予定について話す。
	16	定期試験
キーワード	楽しくパートナー練習 参加型教材	
教科書・教材・参考書	教科書：三宅・コッホ 「アクティブに使うドイツ語・ノイ」 三修社	
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績（50％）、2. 毎時間の口頭発表および課題の提出（50％）で評価します。	
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	今回の授業で用いる会話表現の意味を自発的に調べ、覚えておくと良いでしょう。	

